

大学から地域, そして世界へ

特集

加速する 金沢大学の国際化

金大生のエコ度チェック!
「エコWebアンケート」

【連載】

キャンパス・タイムスリップ

③ 附属学校編



【特集】大学から地域,そして世界へ

加速する 金沢大学の国際化

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を憲章に掲げる本学は、地球規模で展開する現代社会の課題に立ち向かうべく、世界との交流を拡大させています。それらの交流は、研究者や学生の海外派遣はもとより、留学生の受け入れ、キャンパス内における多文化交流など多岐にわたります。今号では、加速する国際化へ向けた本学の取り組みを紹介します。

教育、研究、社会貢献を基本とする大学の活動。それらの舞台を「世界」に広げていくことが、グローバル社会における大学の責務です。

本学では、世界最速の原子間力顕微鏡をはじめ、世界最大の肝臓遺伝子データベース、人類初のマントル物質採集に向けたモホール計画など、世界を代表する研究が行われ、それに携わる研究者が最先端の教育を提供しています。また、イタリア・サンタクローチェ教会の壁画修復や、カンボジア・アンコール遺跡群での環境調査など、研究をととした社会貢献活動も展開しています。

それら優れた活動は、海外で学ぶ学生や、本学を訪れる外国人研究者など、人と人との地球規模の交流を生み出し、国際化された大学の縮図を形成しているのです。

教育、研究、そして社会貢献

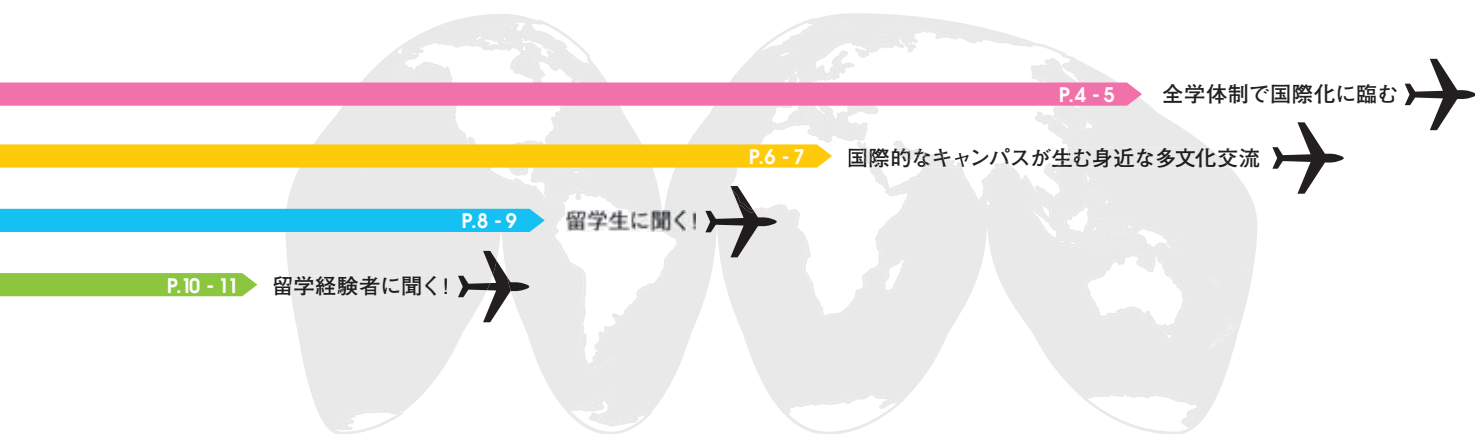


金沢大学の 国際化のために

金沢大学 研究・国際担当理事

長野 勇

NAGANO Isamu



地域が国際交流の舞台に

国際交流が個々の活動レベルで終わってしまつては「大学の国際化」は果たせません。それらを全学的に拡大させる必要があります。また、2020年に日本で学ぶ留学生を30万人にする国の政策に応え、本学は5年後に留学生を倍増させることをめざしています。その環境を整えるため、2008年度から国際交流本部と海外分室（リエゾン・オフィス）を設置するとともに、重点交流協定校を設定するなどの新たな取り組みを開始しています。

日本有数の広さと豊かな里山を持つ角間キャンパスをはじめ、本学は世界的に見ても絶好の学習・研究環境を有しています。歴史と伝統、そして新しさを備えた学都金沢もまた、海外から多くの学生や研究者を受け入れる魅力に溢れています。

本学を窓口として、多くの研究者や留学生が地域を訪れ、研究や情報発信の場とすることで、地域が世界に開かれていく。その流れを支えることも、これからの大学の大切な役割と言えます。

社会のための大学として

国際化された大学とは、最終的に「国際的に活躍できる人材を育てる大学」であると考えます。

情報化・グローバル化がいつ

そう進む現代社会において、金沢大学が「社会のための大学」としての役割をこれからも果たし続けていく。そのためには、世界レベルの研究を行い、最先端の情報を発信するとともに、本学で学んだ学生が国際社会へと羽ばたいていくことが欠かせません。そのような学生を一人でも多く育てていきたいと思っています。

全学体制で国際化に臨む

8学部・25学科・過程から3学域・16学類へと進化した金沢大学では、学問分野を越え、より柔軟な研究・教育が行われています。国際化戦略においても、国の「留学生30万人計画」と歩調を合わせながら、全学的に展開していきます。

アジアを拠点に 世界へ拡大する ネットワーク

日本海を中心に位置する本学は、東アジアの知の拠点として、国際化を加速させる新たな3つの取り組みを行っています。

ひとつは、国際化推進の頭脳となる「国際交流本部」の設置です。国際化に関わるさまざまな企画を立案する学長直属の諮問機関としてスピーディーな意思決定を可能とします。

次は海外分室（リエゾン・オフィス）の設置。これは、留学情報の提供や留学生の受け入れ、現地に留学する本学学生・研究者支援の拠点として活用する計画で、中国、タイ、ベトナム、インドネシアの東アジア4カ国に6つの分室を設置していく予定です。

最後は重点交流協定校の設定です。これは、より積極的に留学生・研究者の行き来を支える国際交流の拠点です。2008年11月に上海の華東理工大学と最初の協定が締結されました。

アジアを、そして世界をフィールドに、教育、研究そして社会貢献のネットワークが広がっていきます。

「留学生30万人計画」とは？

留学生30万人計画は、その名の通り、2020年を目途に「留学生受け入れ30万人」をめざす国の計画です。現在、日本で学ぶ留学生はおよそ12万人。これを約3倍にまで高めようというものです。

日本全体で留学生の人数をこれまでの約3倍に増やすためには、日本の、そして大学の魅力を広く世界にPRしなければいけません。そのため、同計画には「大学のグローバル化の推進」の項目があり、国際的に魅力ある大学となるための指針が示されています。



海外留学を多角的に支援 「派遣留学プログラム」

異文化への興味を育み、留学を志すことは、新しい学びの入り口になります。しかし、長期にわたって海外で学ぶ留学は不安も多く、渡航費や生活費、単位の問題などから、多くの学生にとってハードルの高いものでした。

そこで、費用と単位取得の両面で学生を支援する制度が「派遣留学プログラム」。これは、「学生交流の覚書」を交わした交流協定校に最大1年間の留学をするものです。本学の学生を派遣すると同時に、協定校の学生を迎え入れることで、それぞれ留学先での授業料が免除されます。また、留学先で取得した単位を本学卒業のための必要単位に数える「単位互換制度」を活用することもできます。

この制度には30年以上の長い歴史があり、協定校側が本学学生の受け入れに慣れていること、そして派遣留学を利用した先輩からの確かなアドバイスが受けられること、相談体制や体験授業が充実していることなど、「初めての留学」をしっかりとサポートするシステムが確立しているのです。交流協定校は、2009年3月現在で世界98大学・機関。アメリカやヨーロッパ、オーストラリア、アジア、そしてロシアなど、選肢は世界中に用意されています。



タフツ大学 (アメリカ)



ペンシルバニア大学 (アメリカ)

真の国際人を育てる「国際学類」

人間社会学域の「国際学類」は異文化理解・共生という課題に応えるために創設された新しい分野です。

「国際社会コース」「日本・日本語教育コース」「アジアコース」「米英コース」「ヨーロッパコース」の5つのコースが設けられ、

英語によるコミュニケーション力と国際社会や日本文化に関する知識を基礎力として、各地域に関する深い学習が進行します。同時に、日本の国際化に貢献する人材を育成するため、留学や海外でのインターンシップなどへの積極的な参加を促し、これらの経験によって、国際社会に関する知識と国際コミュニケーション力を養成します。

留学生センターの役割として、外国人留学生に対する支援、海外留学を希望する本学学生に対する支援、そして両者の交流促進の3つが挙げられます。

30人を超える留学生を迎え、日本事情、日本文化や各種専門科目の講義を行っています。

本学から海外への留学を考える学生に対しては、個別に相談や指導を行い、学生の疑問・不安の解消に努めています。さらに「留学に興味があっても踏み出せない」学生の背中を押す活動にも積極的。留学生と同じ講義を受ける「ジョイントクラス」などで、留学生と日本人学生との「身近な国際交流」の機会を演出します。

これは、日本人学生にとつては留学先の情報収集や異文化コミュニケーションを経験する機会となる一方、本学への留学生にとつても、ネットワーク拡大や日本語習得の点で効果を上げています。

留学生センター コース・プログラム一覽

総合日本語コース

本学に在籍する外国人全員を対象としたコース。初級から上級まで各自の日本語能力に合わせた多様なクラス編成が特徴。

日本語・日本文化 研修プログラム

日本語能力の向上および日本社会・文化に対する理解を促進することが目的。全学習を日本語で行う1年間のプログラム。

日本語研修コース

主に大学院レベルの国費外国人留学生を対象に、日本での研究活動に必要な日本語能力を6ヶ月間で集中的に習得する。

日韓共同理工系学部 留学生コース

韓国の高校で優秀な成績を修めた、理工学系志望の高校卒業及び卒業見込み生を、予備教育の時点から金沢大学に受け入れる。

金沢大学短期留学 プログラム

通称KUSEP（キューセップ）。留学生センターがコーディネートする全学の特別プログラムで、交流協定校からの留学生に対し、日本語教育、英語による日本事情・日本文化および各専門分野の授業を提供する1年間のカリキュラム。



留学生が集う国際交流会館



国際的な キャンパスが生む 身近な多文化交流

およそ40ヶ国から352名[※]の留学生が集まっている
本学。さまざまな国から来た留学生たちとともに学ぶ
キャンパスでは、国際的な視野を養うチャンスに溢れて
います。

※2009年3月現在

チューター制度

チューターとは、留学生がそれぞれ
の留学目的を果たすことができ
るよう、勉学、生活、対人関係
のサポートを行う日本人学生
のこと。留学生にとっては「日本
で最初に会った友人」という、重
要な立場となります。前期と後期
、半期ごとに大学の選考を経て決
定される責任のある仕事です。サ
ポート内容は多岐に渡ります。た
えば勉学では、日本語の援助の
ほかに、願書など、提出書類の作
成支援があります。生活では、電

気、ガス、水道の契約・支払い手
続きなどのアドバイスもチュ
ーターの役割です。対人関係サポ
ートとして、互いの友人を紹介しあ
うなど、留学生の人的ネットワー
クを拡大することも大切な役割
です。

留学生と、日常生活を介して深
く付き合うことで、お互いの背景
にある文化に対する理解が深ま
るとともに、かけがえのない多文
化共生の体験が期待できます。



ジョイントクラス

ジョイントクラスは、日本人学
生と留学生との合同講義。在学期
間中にもっと日本人学生とのコ
ミュニケーションの場をもちた
いという留学生の要望から生ま
れました。人間社会学域などの一
部講義のほか、1年生から受講
可能な共通教育科目のなかにも
ジョイントクラスとして開講さ
れているものがあります。例え
ば「日本文化体験学習」。短期留
学プログラム(KUSEP)の留
学生と共に金沢とその近郊にあ
る伝統文化・伝統産業の現場を
訪れ、ものづくりを体験するとい

PIIとの交流

PIIとは「Princeton in
Ischikawa」の頭文字。プリン
ストン大学が主催する「短期間
石川県で学ぶ日本語留学プロ
ラム」のことです。

留学生センターでは、PIIで
毎年6〜7月に来日するプリン
ストン、ハーバード、コロンビア
、イエールなどの大学生と、本学学
生との交流会を開催しています。
1人の留学生を1人の日本人学
生がエスコートし、さまざまな活
動をとおしてお互いの理解を深
めます。より熱心に外国語学習に
打ち込むようになったり、海外留
学のきっかけとなったりと、視野
が世界に広がる交流会です。

う、歴史文化都市にある大学なら
ではの講義です。また、「英語Ⅱ」
や「英語Ⅲ」にも留学生が参加。
海外留学を考える日本人学生に
はネイティブとのコミュニケーション
、留学先の情報収集の機会
になっています。



2008年度は創立五十周年記念館「角間の里」で、本学の紹介を
かねたクイズを行いました。その後、敷地内に生えている竹を
使って七夕の飾り付けを体験しました。



いしかわ金沢学

いしかわ金沢学では、地域に点在する有形・無形の文化的遺産・資源を集積し、その文化的価値を明らかにするとともに、それらを用いた学習活動を行っています。

石川県や金沢市、他の教育機関などと本学のメンバーから構成された「いしかわ金沢学教育研究会」を定期的に開催。その検討結果を反映させた文化体験学習活動が「いしかわ金沢学 Kanazawa Studies in Ishikawas」プログラムです。

夏・秋・冬と特別コースで構成されており、参加する留学生は加賀友禅や金箔、輪島塗など地域が誇る文化に触れることができます。

ます。「体験」と「講義」の両輪で進められるプログラムは宿泊をはじめ、さむ行程で行われ、本学をはじめ、広く県内の留学生・日本人学生が参加し、交流の輪を広げています。

留学生、大学生に加え一般市民が参加することも魅力のひとつです。夏にはその子ども版である「いしかわ金沢学子ども体験塾」も開催。幅広い年齢層とさまざまな国籍の集団が生まれ、大学と地域、そして世界をつなぐ、生きた多文化交流の場となっています。



写真上：色使いに個性が表れた水引体験

写真下：九谷焼の絵付けを楽しむ

ランチョンセミナー (国際交流月間)

昼休みに昼食を取りながら、ちょっとした学習上のアドバイスから、よりよい学生生活を送るための知恵、専門的なテーマについての分かりやすい解説など、バラエティーに富んだ講演を聞くことができるランチョンセミナー。毎年5月の国際交流月間には、学生や留学生、JICAスタッフなどが国際交流をテーマに講演します。

お国自慢や文化討論、留学経験の発表、海外での支援活動体験談など、国際色豊かな話題が飛び交う30分です。



昼食をとりながらの多文化体験

World in Campus

URL: <http://www.wic.t.kanazawa-u.ac.jp/index.html>



「金沢大学で世界と出会う」をキャッチコピーに、ウェブページで展開する多文化交流ポータルサイトが「World in Campus」です。留学生と国内学生が出会い、学びあい、刺激しあうチャンスをもっと創出しようという目的で2007年にスタートしました。

サイトに登録した留学生と日本人学生との交流を、言語の勉強会や、自国文化の発表会、ピクニック、施設見学会など個性豊かなイベントで支援します。理工系キャンパスを中心に展開されますが、金沢大学で学ぶ学生、留学生であれば誰でも登録・参加が可能です。

に聞く!



学はどのように映っているのでしょうか?
中のお二人にお話をうかがいました。

なぜ日本に留学しようと思った
のですか?

ホイットニー 4歳から14歳まで日本に住んでいたこともあり、アメリカに帰国した後はタフツ大学で日本語を専攻していました。日本語のレベルをより向上させるため、両親や先生から日本へ留学することを勧められたのがきっかけです。正直なところ、アメリカで生活する間に日本語が下手になったかもしれないと心配だったのですが、怖がっていても何も変わらないと思い留学することになりました。

キムバリー 私の場合は、日本に興味を持っていたからです。オーストラリアでは中学・高校で日本語の授業がありましたし、大学でも日本語を専攻しています。漫画やアニメをおしても日本の文化や社会を知る機会がありました。日本の丁寧なことばやマナーに魅力を感じ、実際に日本に住んで、ことばや文化に触れる経験

験をしたい、という思いから留学を決めました。

金沢大学を選んだ理由は?

ホイットニー 交換留学制度があったからです。ほかにも交換留学できる大学があったのですが、金沢大学に留学した学生のレポートを読んだり直接話を聞いたりして、とても素敵な大学だと思いました。北陸には来たことがなかったので、金沢大学に決めました。

キムバリー 私は高校2年生のときに、国際交流団体のプログラムで金沢に来たことがありました。2週間ほどの滞在でしたが、都会のようでありながら自然にも恵まれた金沢の雰囲気がとても気に入りました。その経験があったので、オーストラリア国立大学の協定校から金沢大学を選びました。奨学金制度があったことも魅力でした。

ウォーカー ジャイルス・ ホイットニー

WALKER-GILES Whitnee

アメリカ・タフツ大学在籍。幼少期の10年間を日本で過ごす。2008年10月、金沢大学での留学のために再来日。

金沢大学ではどのような勉強をしているのですか?

キムバリー KUSEPのプログラムにより7つのレベルに分かれた「日本語」の授業が中心です。私はC2という中級クラスで、漢字・読書・作文などを学んでいます。ほかにも空手や柔道などの「武道」、日本人学生と一緒に英語で受ける「文化比較」の授業があつておもしろいです。「日本文化体験」では、茶道や座禅、焼き物、活け花などを経験しました。

ホイットニー 私はEレベルの上級クラスで、新聞記事や小説の一部を題材にした会話練習、漢字やレポート作成などの授業を受けています。私も日本人学生とのジョイントクラスで行う「文化比較」が好きですね。留学生と日本人がグループを作り、英語教育や食文化などのテーマを設定してグループプレゼンとディスカッションを行います。グループごとに特徴が表れて楽しいです。



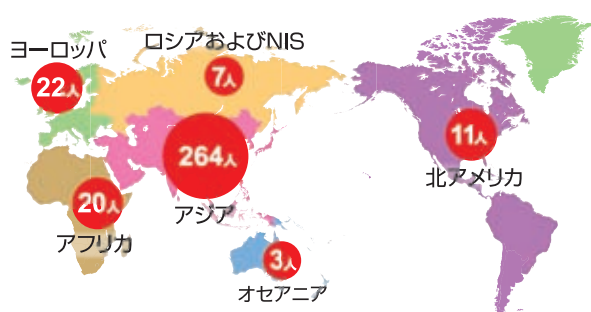
データで見る! 金沢大学で学ぶ 留学生

どこから、どれくらいの留学生が来て、何を学んでいるのでしょうか? 留学生に関するデータを集めました。

(※データは全て2008年5月現在)

データその1 出身地域

留学生の出身地域をみると、アジアが約80%と圧倒的多数を占めています。地理的に近いことはもちろん、協定校の半数以上がアジアにあることが理由として挙げられます。





留学生

留学生の目に日本や金沢、そして金沢大
短期留学プログラム (KUSEP) で留学

金沢での生活について教えてください。

キムバリー 学内の国際交流会館に住んでいます。ここは留学生の寮になっており、授業に通うのに便利です。費用も安いのでとてもよい環境だと思います。困ったことがあれば国際交流会館のアドバイザーやチューターが対応してくれるので助かります。携帯電話を買う際、料金の仕組みがとて複雑で理解できなかったのですが、連れて行ってくれたチューターの助けで無事に買うことができました。

ホイットニー 私も国際交流会館に住んでいます。ほかの留学生に比べて日本で暮らした期間が長いので、よく通訳を頼まれたりします。月に1回、チューターと会って、お茶を飲みながら日本語学習の相談に乗ってもらっています。

お二人にとって、日本や日本人の印象は？

ホイットニー 日本人はとても努力家だと思います。金沢大学でも学生は勉強を毎日がんばっていますし、先生方の仕事ぶりにも感心します。アメリカと大きく違う点は「皆と同じ」ことを求められる社会であること。私もそのなかで育ったので、アメリカに帰国した頃は自分の意見をうまく表現できずに苦労しました。

キムバリー 私も、先生方は親切だし学生は真面目だと思います。それは日本人のよいところですね。日本の丁寧なことばやマナーが魅力的だと言いましたが、そういった面が少なくなっていると感じて残念です。それらを大切に守っていく必要があると思います。

将来の目標を教えてください。

ホイットニー 留学生の役割は、それぞれの国の文化や言語のよい面を紹介し、魅力を伝えること。このプログラムが終了したら帰国しますが、日本のよい面を伝えていきたいと思っています。タフツ大学を卒業したら日本に戻って大学院へ進もうと考えています。それが金沢大学だったなら素敵ですね。

キムバリー 私も母国の大学を卒業したらまた日本に戻ってきて仕事をしたいと思っています。具体的な内容は決めていませんが、行政の国際交流員や英語講師などが考えられます。日本で暮らして、日本の文化・社会についてもっと学んでいきたいです。

バリングトン ナイト・ キムバリー

BARRINGTON-KNIGHT *Kymerley*

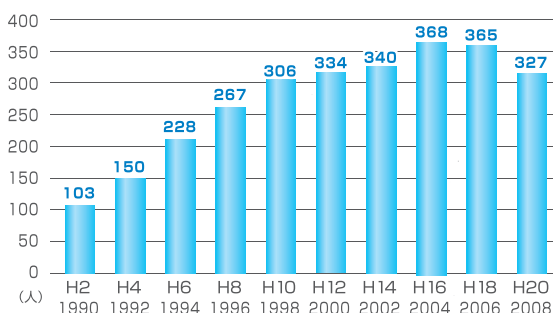
オーストラリア国立大学在籍。
日本語・日本文化を学ぶために
2008年10月から金沢大学に留学中。



「いしかわ金沢学」で
輪島塗の沈金に挑戦！
箸づくりを体験しました。

右) 留学生数の推移
下) 区分別留学生数

学域・学部	72人
大学院(修士)	81人
大学院(博士)	128人
留学生センター	46人



データその2 留学生数推移・区分別人数

金沢大学に初めて留学生が来たのは1976年のこと。それ以降、順調にその数を伸ばし、近年は毎年300人以上の留学生を受け入れています。留学生の多くは大学院に所属。高度で専門的な研究に取り組んでいます。

者に聞く!

EYES TO THE WORLD

学した学生は、その先で何を学び、留学したお二人にお話をうかがいました。



西 晴香

NISHI Haruka

三重県出身。経済学部経済学科3年。
2007年8月～2008年8月に
台湾師範大学に留学。

留学しようと思った理由は?

西 教養科目のひとつに留学生との合同ゼミがあり、そこで留学生と交流を持つうちに意識するようになりました。1年の夏休みに参加した石川県ユネスコ協会のスタディツアーで、ベトナムとカンボジアのNPOやNGOを訪問したことも大きな刺激となって留学を決意しました。

小林 私は将来、実際に英語を話せる英語教師になりたいと思っているので、「生の英語に触れたい」というのが一番の理由でした。移民国家でありながら世界をリードしているアメリカへの憧れもあり、アメリカで英語の勉強をしたいと常々考えていました。

留学先はどのように選びましたか?

西 留学先での学費が免除されるということで、派遣留学ができる協定校から選びました。もともと

とアジア諸国に興味があったことと、合同ゼミで出会って影響を受けた台湾人留学生にまた会いたいという思いから、中国語を学べる学校を探しました。留学経験のある先輩や中国人の先生に詳しい話をうかがって、外国人への中国語教育が充実している台湾師範大学に決めました。

小林 私も費用や単位互換の点から派遣留学に魅力を感じ、アメリカの協定校から選びました。当初はニューヨーク州立大学のバッファロー校を考えていたのですが、TOEFL※で良いスコアが取れていたため、より語学・文学の講義が充実した総合大学のタフツ大学にチャレンジしました。要求されたTOEFLのスコアには届いていなかったのですが、1ヶ月の語学研修を受講する条件で入学が許可されました。

※TOEFL (Test of English as a Foreign Language)
英語を母国語としない人々を対象とした英語能力判定テスト

準備はどのように進めたのですか?

小林 シラバスをチェックして、TOEFL対策になりました。また、授業を全て取りました。自分が留学するときのことを想像しながら、タフツ大学からの留学生のチューターを務め、日本で生活する手助けをしました。留学生センターをはじめ、金沢大学のホームページや留学した先輩からも情報を集め、少しでも不安を減らすようにしました。

西 私でもできる限り中国語の授業を取るとともに、中国人留学生のチューターを務め、お互いの言語を教え合う勉強会を週に2回行いました。また、日本や金沢、金沢大学について留学先で紹介できるようにするための努力もしました。兼六園の料亭でアルバイトをして着物の着付けや礼儀作法を学び、大学のオープンキャンパスでは学類紹介のスタッフを務めました。

留学して最初のクラスメートたちと。国際色豊かなクラスでした!



サポートその2 奨学金

海外留学希望者のための奨学金制度はさまざま。国、自治体、大学や多くの財団によって整備されており、本学でも「金沢大学海外留学奨励費」の支給や日本学生支援機構への推薦を行っています。

Check! 金沢大学ホームページ 海外留学奨学金一覧
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_ryugaku/top/kaigai_scholarship/default.htm

Check! 日本学生支援機構ホームページ
<http://www.jasso.go.jp/index.html>

サポートその1 外国語対策

留学するには語学力の証明が必要。英語圏ならTOEFLで要求されたスコアに達しなければいけません。本学ではTOEFLや留学英語をテーマとした授業を開講しているほか、他言語に関しても、外国語教育研究センターでの教材貸し出しや検定試験の受験支援、夏季語学研修を実施しています。

Check! 金沢大学外国語教育研究センター
<http://fiwww.ge.kanazawa-u.ac.jp/>

留学を応援!
金沢大学のサポート体制
留学する!と決めているなくても、興味がある人は多いはず。金沢大学はそんな皆さんを応援します。



小林 隆

KOBAYASHI Takashi

新潟県出身。文学部文学科4年。
2007年7月～2008年5月に
アメリカのタフツ大学に留学。

友達のバンドの
ライブにて。
おそろいのTシャツで
ポーズ!



派遣留学についてのお問合せは学生部学務課留学生第一係へ!

TEL: (076)264-5190 E-mail: ryukou@ad.kanazawa-u.ac.jp

サポートその4 手引き

金沢大学生のための派遣留学の手引き

少しでも留学に興味があれば、ぜひ読んでほしい冊子。派遣留学の流れや奨学金の情報、出発準備や各種手続きについて詳しく書かれています。本部棟2階・学生部前または各局の学務係で取り寄せることができます。

Check! 金沢大学生のための海外留学情報

http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_ryugaku/top/kaigai_ryugaku_jyoho.htm



サポートその3 海外留学情報コーナー



本部棟2階・学生部前に設けられているのが「海外留学情報コーナー」。国別の留学に関する書籍などを自由に閲覧でき役立つ情報を収集できます。貸し出しも行っていますので、留学に興味がある人はのぞいてみよう!



留学経験

世界を見つめ、世界をめざし留
どんな生活を送ったのでしょうか?派遣

留学先での授業について教えてください。

西 師範大学の中にある、外国人を対象とした語学センターで、中国語・中国文化を学びました。留学当初のクラスは欧米系の学生が多く、普段の会話が英語中心になってしまい苦労しました。3ヶ月に1回、筆記・リスニング・発音の試験によってクラス替えがあり、自分の上達に合った学習ができる点が良かったです。師範大学には経済学部がなく、単位の互換はできなかったのですが、経済学の授業にも聴講生として参加しました。金沢大学の代表という責任感は勉学の励みになりました。

だり、中間・期末審査ごとに数十ページの論文を書いたり大変でした。より多くの言語を学ぼうとスペイン語の授業も取ったので、とにかく忙しかったですね。日本語コースの先生が派遣留学生のアドバイザーとしてサポートしてくださいました。

現地での生活はどうでしたか?

小林 日系や日本語専攻の現地学生たちと寮に住んでいました。平日は課題に追われ図書館通いでしたが、週末はあちこちの寮で開かれるパーティーに参加して楽しく過ごしました。地下鉄や自転車、バスで市街に出かけたり、冬には電車やバスを乗り継いでスノーボードにも行きました。

西 私も学内の寮住まいで、台湾人、ベリズ人、3人でルームシェアしていました。台所がなかったのが外食が中心でしたが、自炊するよりも安くいられた。時にはコンロを持ち込んで料理もしました。

小林 留学する前は、現地の文化に同化すればいいと思っていたのですが、アメリカでは「自分はどう思うか」を伝えることを常に求められました。同化するのではなく、自分の考えをしっかりと持つ必要があると気づかされました。精神的・人間的に大きく成長できた、これまでの人生で最も充実した1年でした。

留学をとおして得たことや学んだことは?

金沢大学アジア人財育成プロジェクト本格始動！

後編 アジアを担う「人財」を育てるプロジェクトの現在と未来

1期生を送り出し、ますますの発展が期待される金沢大学の「アジア人財育成プロジェクト」。その核となる教育プログラムとプロジェクトの今後について、留学生や関係者の声を交えて紹介します。

2年6ヶ月の スケジュール 体系

このプロジェクトに参加する留学生は、毎年10月に来日し、翌年3月までは予備教育（研究生）として、基礎的な日本語力の修得と専攻科目の基本的な学習を行います。日本の大学院で学ぶための素地を養ったあと、4月に博士前期課程に入学し、2年間の大学院教育が始まります。

入学後は、専門教育と総合日本語教育の授業を並行して受講。夏休み・春休みは休暇返上で「ビジネス日本語」を履修・修得します。また、夏休み以降にはインターンシップが義務づけられています。

2年間で取得する単位は修士論文を含め42。限られた時間のなかで最大限の効果を上げるカリキュラムとなっています。

開講スケジュール

教育の大枠	実施体制	具体的な教育内容	予備教育	1年前期	夏休み	1年後期	春休み	2年前期	夏休み	2年後期
専門教育	金沢大学における教育	専門教育								
日本語教育 日本文化教育		総合日本語教育								
		ビジネス日本語								
企業技術編	地域企業との 産学連携による教育	地域企業概論								
日本ビジネスに関する教育		地域企業研究								
		企業技術研修(インターンシップ)								
		ビジネス基礎論								
		企業ビジネス研修(インターンシップ)								
		MOT技術マネジメント基礎論								
		MOTニュービジネス創造論								
		MOT地域ビジネス論								

技術開発の現場を体験

留学生が参加するインターンシップは、「企業技術研修」と「企業ビジネス研修」の2種類。インターンシッププログラムの開発リーダーである田村和弘教授（理工研究域）は、「技術系のインターンシップである『企業技術研修』は、このプロジェクトのコアになる部分です」と話します。

「企業ビジネス研修」は、企業戦略や市場調査、コスト計算などの実務体験。それに対し、「企業技術研修」は、技術開発の現場を体験するものです。

留学生たちは、博士前期課程1年の夏休みや後期の約3ヶ月間、北陸地域の企業を訪れ、コンピュータや大型機械など、インターンシップ先の企業が得意とする分野の開発現場に飛び込みます。商品の分析や評価、新たな技術の提案など、実際の業務に限りなく近いかたちで進行するインターンシップをとおして、留学生は「日本企業で技術者として働く自分」を疑似体験できます。

ものづくりを介した国際交流 インターンシッププログラム

研修効果を高める科目群

「企業技術研修」は、開発現場という、いわば企業の中核で行われる研修。そのため、留学生は事前準備も綿密に行います。各企業のエンジニアを大学に招いて北陸におけるものづくりの実態を知る「地域企業研究」や、特定の企業について深く学ぶ「地域企業概論」などを受講し、経営方針や特色、それを支える中核技術を理解します。自分の研究テーマに合致した企業を選ぶことで、実のある研修ができる体制を整えています。

また、開発の現場は「企業秘密」に触れる場であったり、さまざまな重機が動いている場であったりするため、知的財産や安全管理についてもしっかりと学習します。

「事前に学ぶべきことも、研修中の予習復習も多く、一般的なインターンシップに比べると大変にハードだと思えます」と田村先生。終了後に実施された成果報告会では、画像処理プログラムやシミュレーションモデル



理工研究域
田村 和弘教授

の作成など専門性の高い報告がなされ、留学生の大きな成長が見られました。

研修の前後に行われるこれらの取り組みによって、留学生はより深く企業を理解し、その業務に携わることができるようになります。それはまさにものづくりを介した国際交流と云うべきものです。



地域と世界をつなぐプロジェクトの未来

多方面からの期待を背負って

「今回のプロジェクトは産学官連携の促進という観点からも先駆的な体制です」と語るのは、財団法人石川県産業創出支援機構（ISICO）の豊原菊生専務理事。このプロジェクトは、実施主体の金沢大学に加え、経済産業省との折衝などを支援するISICO、ビジネス日本語を本学とともに開発指導する石川県国際交流協会、そして県商工労働部など多方面にわたる機関との連携により進められています。

その背景にあるのは地域の産業構造です。石川県は建設機械や産業用プレス装置などの工作機器を製造する機械メーカーが集積しており、また、電気機械分野でも情報関連機器のシェアトップ企業や世界的なブランドをもつ企業があります。シェアトップ企業の数では東京、大阪に次いで国内第3位。全国屈指の「ものづくり産業クラスター」を形成しているのです。

それらの企業の多くが、中国、タイ、韓国、ベトナムなどのアジア地域を中心に海外への



財団法人 石川県産業創出支援機構
豊原 菊生 専務理事

進出を図っています。その動きを後方支援するこのプロジェクトは、関係者の大きな期待を集めています。

出口の充実をめざす

留学生の受け入れから教育、企業体験までの流れは一定の効果を見せています。インターンシップ受け入れ企業からも「日本語でのコミュニケーションが十分にでき、意欲も高く現場の活性化につながった」との評価が寄せられました。

1期生は既に地元の企業で活躍しており、2期生は現在就職活動中。留学生の就職に詳しいキャリアアカウンセラーを招いたセミナーや個別面談を受けています。

プログラムの今後の課題は、留学生の就職支援、すなわち「出口」をより充実させていくこと。今後増加が予想される留学生に対する就職支援は、大学全体の課題でもあります。

さまざまな国からの留学生が本学で学び、人財として世界中で活躍する。その未来に向けて、アジア人財育成プロジェクトは走り続けています。

（2009年2月取材）



留学生就職支援セミナー

参加留学生に聞く！

インターンシップの魅力は？

単なる職場体験に終わらない有意義な内容

インターンシップでは精密な鋼板の運搬システムをつくる研究を課題としました。企業内の実験だけでなく事前シミュレーションや事後検証など、単に職場体験に終わらない有意義なインターンシップだったと思います。

「ビジネス日本語」の授業では、「自動車産業の構造」や「市場の分析」など難しい言葉を使いながらプレゼンテーションを行いました。日常生活ではあまり使わない言葉ばかりだったので、就職後のコミュニケーションのために、もっと勉強したいと思います。



カイザン 都 海山さん

出身：青海省（中国）
専門：電子情報工学 適応システム理論



コヰ 潔さん

出身：江蘇省（中国）
専門：電子情報工学 電子物理

大学だけでは得られないことを数多く学びました。

携帯電話での雑音の軽減など、さまざまな機械で使われている「表面弾性波フィルタ」の耐電力性についてインターンシップで学びました。専門的な知識はもちろん、日本の会社の運営方法や、お客さまへの対応、職場での人との付き合い方など、大学だけでは得られないことを数多く学んだ研修でした。

また、日本語で実験結果のレポートを書いたりプレゼンテーションを行ったりしたおかげで、「ビジネス日本語」も上達しました。

□ アンケート期間:2009年1月28日～2月24日
□ 回答者:114名

アカンサスポータルとは?

金沢大学が提供する学生支援システムです。教員と学生全員にIDが発行され、サイトの電子掲示板やメッセージ機能を使ったコミュニケーション、授業での配布資料の共有、自らの成長が実感できる授業活動記録などが行われています。



アカンサスポータルを使って、 金大生のエコ度チェック! 「エコWebアンケート」

ここ数年「地球温暖化」「省エネ」「CO₂削減」という言葉をよく耳にするようになりました。世界規模で進められているエコ活動について、金大生はどのように感じているのでしょうか。

Q1 エコに興味・関心 はありますか?



- 1位 多少ある** (61票)
- 2位 大いにある** (29票)
- 3位 あまりない** (14票)
- 4位 全くない** (2票)

「多少ある」「大いにある」が大半を占めていることから、ほとんどの学生が興味・関心があるようです。ただ「エコ」といえば、今までのような便利で快適な生活とは必ずしも一致しない部分も…。みんな、具体的にどんなことに取り組んでいるのでしょうか?

Q2 日ごろ行っている エコ活動は?



- 1位 ゴミの分別** (86票)
- 2位 照明や家電製品のこまめな消灯** (66票)
- 3位 洗濯のまとめ洗い
冷暖房機器の
適正温度設定** (65票)
- 5位 裏紙の利用** (60票)
- 6位 自転車、徒歩、
公共交通機関の利用** (56票)
- 100円バスの利用** (56票)

「ゴミの分別」「照明や家電製品のこまめな消灯」など、取り組みやすいものからチャレンジしていくのも一つの手です。少数回答ながら「地元食材の購入」がありました。食材の輸送でCO₂が排出されることを考えると、地元のものを買うこともエコにつながるんですね。

Q3 これから やってみたい エコ活動は?



- 1位 マイバッグの
利用** (28票)
- 2位 マイ箸やマイボトル、
マイ水筒の利用** (27票)
- 3位 地元食材の購入** (23票)
- 4位 照明や家電製品のこまめな消灯** (19票)

石川県では6月からレジ袋が有料化される予定。マイバッグは必要不可欠になるかもしれません。マイバッグを持っていくとポイントを加算してくれるお店もあります。最近はおしゃれなものや、個性的なものも登場しているので、お気に入りの一つを探すのも楽しいですよ。



大学生協で販売されている折りたたみマイバッグ

Q4 金沢大学の環境活動 (エコアクション)で 知っているものは?



- 1位 100円バス** (95票)
- 2位 ホッかる弁当** (81票)
- 3位 学生リユース市** (59票)
- 4位 はよう帰らまっし日** (55票)
- 5位 キャンパス緑化運動** (46票)
- 6位 太陽光発電** (38票)
- 7位 風力発電** (13票)
- 8位 6月の環境月間** (2票)

角間キャンパスと周辺地域を結ぶ「100円バス」は、2008年度利用者実績で累計34108人(2009年2月末現在)。公共交通機関を使うことで温室効果ガスの削減に効果があります。「ホッかる弁当」は食べ終わるとシートをはがしてセロハン部分と紙部分を分けることができ、回収場所へ返却すると10円がもどってきます。

【エコ豆知識】

知ってる? 基礎知識

その1 CO2排出量ってどうやって計算するの?

使用されるエネルギーごとに「排出係数」というものが設定されており、「エネルギー消費量×排出係数=CO2排出量(単位:kgCO2)」となります。係数には地域差や時期による見直しもありますが、電気なら0.457kgCO2/kWh、ガスなら2.328kgCO2/m³という値が広く使われています。

その2 いちばん電力を消費する家電製品は?

エアコン(25.2%)、冷蔵庫・照明器具(ともに16.1%)の3種類で家庭での電力消費の半分以上(57.4%)を占めています。省エネ効果を高めるには、これら消費電力量の多い家電製品を賢く使うことが大切です。

実践しよう! 家庭で省エネ

その1 エアコンを適正温度に!

エアコンの設定温度を、夏は27℃から28℃、冬は21℃から20℃へと「適正温度」に変えたとしみましょう。ほんの1℃の違いですが、その省エネ効果は、夏【電気代:670円 CO2削減量:12.4kg】、冬【電気代:1,170円 CO2削減量:21.8kg】にもなります。

その2 ふんわりアクセルで安全&エコ

車の運転中もっともガソリンを消費するのが発進直後の加速。そこで「ふんわりアクセル」がオススメです。加速を「5秒間で20km/h」を目安に抑えれば、年間の省エネ効果は【ガソリン代:11,370円 CO2削減量:194kg】!そのうえ事故の危険まで減らせます。

出典:家庭の省エネ大辞典2008年版
(資源エネルギー庁、財団法人省エネルギーセンター)

<http://www.enecho.meti.go.jp/policy/saveenergy/data/katei.pdf>

「もっと詳しく知りたい」人は

- 環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/>
- 全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ <http://www.jccca.org/>



Q5
金沢大学は
エコに積極的
だと思う?



金沢大学
エコアクション2008

金沢大学では「金沢大学環境方針」に基づいて、さまざまなエコアクションを展開しています。学生のみならず、積極的な参加が、本学のこれからの環境活動をより充実させていきます!

1位 どちらかと
言えば思う (61票)

2位 あまり思わない (33票)

3位 非常に思う (6票)

4位 まったく思わない (5票)



卒業生から提供された家具や家電製品を新入生に格安で販売するリユース市。毎年、多くの人で賑わうイベント



自然科学研究棟の屋上には太陽光発電システムを設置。案内パネルには日射量や発電量が表示される

Webからもチェック!

●金沢大学環境報告書2008

http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_sisetu/kannkyouka/kankyo/2008.pdf



自然科学本館入口に設置されている風力発電装置

eco-NEWS

「アクティブラーニング」がキーワード 「環境の現場に学ぶ」が開講

2009年度の共通教育科目に、西山宣昭教授(大学教育開発・支援センター)の「環境の現場に学ぶ」が開講しました。授業では、金沢市環境局の全面的な協力のもと、市内のリサイクルプラザや水質管理センターにおいて、ゴミのリサイクルや下水・汚泥処理の工程を見学。自分たちで設定したテーマに基づいて調査を行う、主体的な環境学習の場となります。座学では味わえない臨場感が魅力です。

例えばこんな調査ができます

- ゴミを分別・リサイクルする際に排出されるCO₂の量は?
- リサイクルのコストはどれくらい?
- ゴミを分解する微生物サンプルの観察
- 試験管レベルでの汚濁物処理などの簡単な実験

フィルムをはがすだけ。
洗う手間が省け、水も汚さない!



新しく登場したリサイクル容器「リ・リパック」。使い終わって回収されたトレイは同じ容器として再生・再資源化されるため、ゴミの軽減につながります。回収に協力すると、「ホッかる弁当」と同じくデボジット(預かり金)の10円が返却。エコでお得なリサイクルに協力しましょう!

ランチボックスがさらに進化 「リ・リパック」登場!

Graduate Interview

卒業生インタビュー



NGO エクマットラ 顧問

渡辺 大樹

WATANABE Hiroki

インドと国境を接する南アジアの国バングラデシュ。しばしば「アジアの最貧国」と表現されるこの国で、ストリートチルドレンたちを支援する NGO「エクマットラ」を興し、現在、その顧問として活動する日本人がいる。渡辺大樹さん、本学文学部史学科の卒業生だ。

子どもたちとの出会い

路上で生活する子どもたち。渡辺さんは、大学で4年間打ち込んだヨット部の活動をおして彼らに出会った。2001年12月、ヨットの国際大会が開催されたタイで、ぼろぼろの服を着たひとりの男の子が、2階建てバスに乗った渡辺さんを、じっと見上げていたのだ。

「彼と目が合った瞬間、稲妻のような衝撃が体を突き抜けていきました。子どもたちは、何かを失敗して路上生活者になったのだろうか。そして、自分は何かを成し遂げて彼らを見下ろしているのだろうか。」

子どもたちと自分。両者を分けたのは努力ではない。生まれた瞬間からある「格差」だ。渡辺さんはその事実を愕然とした。

バングラデシュでの挑戦

帰国後もその衝撃は消えることはなかった。年が明けて2002年、渡辺さんは再び海を渡る。大学を卒業して3ヵ月後、向かった先はバングラデシュだった。

渡航後、まず現地の言語「ベンガル語」を学び始めた。子どもたちに教える立場になるため、完璧な習得をめざし、毎日10〜20件の露天の茶屋を巡り、世間話の輪に入って、基本的な言葉を学んだ。そして、より高度なベンガル語をマスターするためダッカ大学に入学。学業のかたわら、学生たち

とバングラデシュの将来について意見をぶつけ合った。時には喧嘩になるほど濃密なやり取りの中、かけがえのない「仲間」と、ストリートチルドレンを支援するという、渡辺さんの決意を実現する組織「エクマットラ」の原型がそこで生まれた。

エクマットラの活動

路上に住む子どもたちにも親がいる。物乞いや物売り、ゴミ拾いができる彼らは大事な収入源。そんな考えを持ち、子どもを教育から遠ざける親の説得が、エクマットラ最初の活動だった。当初は相手にもされず、大勢で囲まれて脅されることすらあったが、日々熱心に説得する渡辺さん

人たちの姿に、彼らも心を開いていった。「子どもを自分と同じ目に遭わせたくない。でも、具体的にどうすればいいのかわからない」。そんな本音も、聞かせてくれるようになった。親の理解を得て始まった活動は、公園にブルーシートを敷いただけの「青空教室」。やがて、子どもたちの家であり、規則正しい集団生活を身につける場となる「シエルターホーム」の設立にまで至った。

「私たちが支えてくれたのは、エクマットラで変わっていく子どもたちの姿でした」と渡辺さんは振り返る。異国の地ですべてが手探り。「本当にこれでいいのか?」と自問しながらの活動も、子どもたちがスキルを身につけ、自信を取り戻していく姿を目にすることで「これでいいんだ」という確信に変わっていった。

格差のない世界への架け橋に

海を渡った当初、渡辺さんに明確なプランは何もなかった。「私、あなた、1・2・3」が知っていたベンガル語のすべてだった。しかし、タイで受けた衝撃が自分の中で大きな軸となり芯となっていくと根付いており、それが、異国の地でも迷うことなく前へ前へと進ませてくれる原動力となっていた。

エクマットラとはベンガル語で「みなが共有できる一本の線」という意味だ。そこにはバングラデシュに横たわる大きな経済的・社会的格差を乗り越えて、平等な社会への架け橋になるという願いがこめられている。2009年、エクマットラは新たに自立支援センターを立ち上



青空教室の風景



渡辺 大樹さん プロフィール

1980年生まれ。神奈川県出身。大学時代に属していたヨット部で培った精神「やるだけやってもまだできる」がモットー。バングラデシュでは、金沢大学で知り合った留学生の実家に家族の一員として迎え入れられる。

エクマットラホームページ
<http://www.ekmattra.org/>

げ、ストリートチルドレンの社会復帰を手助けする。「ゆくゆくはセンターを中心に収入源を確保し、運営を現地の人たちに任せたいですね」。渡辺さんは今日も、バングラデシュの子どもたちに希望を与え続けている。



写真上:夏祭りのお面づくり 写真下:子どもたちのドッチボール



子どもたちからもらう感動と達成感

子ども会サークル「つみき」

「つみき」は、毎週土曜に小立野公園や入江公園で小学生の子どもたちと、おにごっこや、ドッチボール、サッカーなど、遊びをとおして交流を深めているサークルだ。週2回の定例会には、毎回、メンバー全員が出席するなど、活発に活動している。

昨年12月、金沢市武蔵の宗林寺講堂で行われた文化祭「ツミティバル」では、お化け屋敷、イライラ棒たおし、サンドウィッチ作り、ダンス、劇に挑戦した。当日は30名の子どもが参加し、大盛況だった。3月の「6年生を送る会」では、メンバーといっしょに歌った歌に子どもたちが号泣。感謝の手紙を朗読してくれるという嬉しいサプライズもあった。そんなとき「企画や準備など、すべての苦労を忘れ、本当にこのサークルに入ってよかったと実感します」と語るのは、石塚優香さん(教育学部4年)。教員をめざし、日ごろ子どもたちと接しているが、この経験が自信につながり、教員になる意欲が増した。また、子どもたちと交流するうちに、一緒に遊ぶことの

魅力にとりつかれ、いつの間にかお互い信頼関係が生まれるまでになったという。

毎年、ゴールデンウィークに行われる同窓会では、中学生となった子どもたちも参加する。久しぶりに会って、礼儀が身に付き、立ち振る舞いが大人らしくなった様子を見て、「驚く反面、とても嬉しい」と部長の槇文将さん(工学部3年)は語った。

「つみき」の活躍はここで!

●<http://tsumiki.nobody.jp/>



サークル紹介

ジュニアホステリングで、
思い出の残る夏休みを

ユースホステルサークル「フリ*フリ」

「フリ*フリ」の由来について、「毎週金曜に活動することから、FRIDAY・FRIENDSの頭をとったのではないかと話すのは、部長の田辺貴之さん(理学部3年)。ここでは、毎年夏休みに小学生を募集して、一緒に2泊3日の旅行に行くという一大イベント「J・ホス(ジュニアホステリング)」を企画・運営している。

「J・ホス」の準備は3ヶ月以上前から。ポスターを作成し、各小学校から参加者を募集。安全面から公共交通機関を利用するため、時刻表や路線図を徹底的に調査する。体験プログラムを含め周到な準備を経てようやく当日を迎えるという。

昨年の行き先は飛騨高山。20名ほどの小学生が参加した。お互い打ち解けるまでに少し時間はかかったものの、鍾乳洞でフロストーン(流れ石)に感動したり、万華鏡を作って楽しんだり、花火をしたりと、充実した時間を過ごした。

準備は万全のつもりでも、アレルギー体質の子どもへの対応に悩むなど予想外の

出来事もあった。幸い、子ども自身の機転で解決することができたが、そんな「子どもからの学び」こそがこのサークルの魅力だ。「日ごろ接することのない小学生たちと過ごすことで、自分たちのところと同じところ、違うところを発見できます」と語るのは伊東菜々子さん(法学部3年)。子どもの目線に立つことで、自らの視野が広がる。そんな成長を実感しているのだ。

「フリ*フリ」の活躍はここで!

●<http://x47.peps.jp/frifri09/>



子どもたちといっしょに万華鏡づくり



全員で記念写真

キャンパス・タイムスリップ。

③ 附属学校編

金沢大学には、附属の小・中・高校、特別支援学校、そして幼稚園があります。今回の「キャンパス・タイムスリップ」は、これら附属学校にスポットを当て、それぞれの歴史が刻まれたキャンパスの変遷をたどります。



新校舎建設後の広坂。校舎左には市役所、奥には後に移転する県庁舎が見える



附属学校の成り立ち
附属学校のルーツは、1874年、小学校教員の養成を目的に創設された石川県集成学校の附属小学校。集成学校が石川県師範学校と改称された後、組織改変や移転をはさみながら、幼稚園、中学校、高等学校が順に附設されていきました。1949年、大学設置によって金沢大学石川師範学校附属学校が誕生。1951〜52年にかけて教育学部附属となりました。師範学校時代から、附属小中学校と幼稚園が置かれていたのは金沢市中心部の広坂地区。附属高校だけは平和町地区に校舎を置いていました。

明治の師範学校資料



1882年(明治15)の「新撰体操書」(体操伝習所, 金沢大学附属図書館蔵)。着物、アレイ、体操の組み合わせがユニーク

1911年(明治44)、広坂での運動会を伝える絵ハガキ(金沢大学資料館蔵)



広坂地区の整備

広坂では、1889年に移築されて以来の古い木造校舎をそのまま使用していました。そこで、1951年から改築が計画され、62年には鉄筋コンクリート3階建ての新校舎を建築。68年には、それまで小学校校舎の一部を転々としてきた幼稚園の新園舎も完成しました。附属幼稚園の設置以来、約80年がかりでようやく手にした独立園舎でしたが、敷地不足を反映して、2階にも保育室を持つという珍しい造りとなりました。

広坂では、小中学校と同じ敷地の隅に幼稚園がありました。小学生と園児が一緒に遊んだり、中学生が雪かきをしてくれたりと、和気あいあいとした雰囲気でした。兼六園に近く、百万石の文化を感じる情緒豊かな環境だったと思います。私の赴任時から移転についての会議が開かれており、園舎や遊具の配置について要望を出していました。当初の予定では中学校がまず移転し、幼稚園は1年後に移るはずでしたが、結局は2校1園がそろって移転することになり随分慌しかったことを思い出します。平和町では敷地が格段に広くなり、広坂では小学校と合同だった運動会を園独自で行えるようになりました。きれいで明るい環境に子どもたちも喜んでいましたね。



広坂地区の

思い出

金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属幼稚園
副園長

池田 三津子さん

金沢市出身
在職期間:1993〜現在

広坂地区の

思い出

金沢市立泉野小学校
教諭

とまり かずひさ
泊 和寿さん

金沢市出身 附属中学校卒
在学期間：1976～1985



小中学校の9年間で、広坂で過ごしました。敷地を囲むように大きな木が立ち並び、街中にありながら落ち着いた雰囲気でした。

附属学校は国立ですので、市立の学校とは異なる点がいくつもありました。ほとんどの生徒はバスや電車で通学していましたし、給食がなく毎日弁当でした。小学校には毎年100人以上の教育実習生が来ていましたが、そのほとんどは金沢大学からでしたね。

附属の先生には、授業の上手な素晴らしい方が多かったと思います。子どもの尊厳を守り、生徒全員が分かるまで授業を行う姿勢は、教師となった私の模範です。

養護学校の発足と大学と県土地交換

1949年、附属小学校に全国初の特殊学級が置かれました。59年には中学校にも3学級が設置され、これらを母体として64年に発足したのが金沢大学教育学部附属養護学校です。

特殊学級時は広坂の一角に校舎を建てて使用していましたが、養護学校としての新校舎が求められると、その用地が問題となりました。広坂にはこれ以上校舎を建てる余地がなかったのです。

また当時、大学は理学部の城内キャンパスへの移転を計画していましたが、城内の敷地に限りがあったため、理学部に併設されていた県庁裏の体育施設の移設先を探していました。



広坂時代の校舎



移転後の東兼六地区全景

そこに願ってもない話が舞い込みました。県庁舎の増築のため、理学部跡地の一部と県が所有する旧金沢市立兼六中学校跡地との交換の申し出があったのです。東兼六地区にあったこの旧兼六中跡地は、学校施設の用地として申し分ありませんでした。そのため、大学はこの申し出を受託。1967年、附属養護学校の校舎を新築しました。

養護学校はその後、金沢大学附属特別支援学校へと名称を変更し、現在に至っています。

平和町への総合移転

校舎・園舎の改築が実現した広坂の2校1園でしたが、なお一部には明治・大正時代の木造建

築が残っていました。何より、校地面積が必要面積を満たしていなかったため、小中学校で運動場やプールの共用が避けられず、授業や学校行事の運営に支障をきたすこともありました。

1979年、金沢大学将来構想が策定され、平和町地区の総合運動場や東兼六地区のテニスコートなどの大学施設が角間地区へ移される見通しとなりました。これを受け、附属学校は広坂2校1園の平和町への移転を決定。95年、総合運動場跡地へと移り、高校と合わせて附属3校1園が集うキャンパスが平和町に形成されました。

この平和町地区では、幼稚園と小学校が交流スペースによって連結され、園児・生徒が触れ合える芝生の広場も整備されています。各校園それぞれの独立性を保ちながら、学年や学校を超えた豊かな交流が生まれる環境を実現しています。

広坂地区跡地

あの頃コラム

市内中心部に位置していた金沢大学各施設の郊外への移転計画が持ち上がると、空洞化を避けるための効果的な跡地利用が求められました。広坂2校1園の跡地を引き継いだ金沢市は、美術館を核とした文化交流施設の建設を選択。1996年の美術館建設準備事務局発足を経て、2004年10月、「金沢21世紀美術館」が誕生しました。斬新な企画・運営で国内外の注目を集めた同美術館は人気スポットとなり、全国から訪れる観光客や多くの市民で賑わいを見せています。



「まるびい」の愛称を持つ金沢21世紀美術館

撮影：中道淳/ナカサンドパートナーズ
提供：金沢21世紀美術館



移転完了後の平和町地区。「教育の場にふさわしい」として、1997年度金沢都市美文化賞を受賞した

金沢大学同窓会情報

Alumni association information

一生の友に巡り会い、生涯をかけてやりたいことを見つける、
人生において大きな意味を持つキャンパスライフ。
金沢大学ではその「大切な時間」にいつでも立ち返ることができる
多くの同窓会が活動しています。

躍進と充実に向けて、 2008年に 事業内容を一新！ 薬学同窓会

「薬学同窓会」は1964(昭和39)年に「金沢大学薬友会」として発足した、45年の歴史を持つ同窓会です。
2001(平成13)年までは、は薬学部長が会長を務めていましたが、母校の在学生、教職員に対する支援を強化するため会員である卒業生の中から会長を選出することとなり、同時に「金沢大学薬学同窓会」と名称を変更しました。

同窓会では会員数が約5000名、14の支部で構成され、特に卒業生の多い支部では、「金沢大学薬学石川同窓会」など地区の名称を入れた地区同窓会として、活発に活動を展開しています。

同窓会本部の活動として、毎年5月第3土曜日に、理事会・総会・懇親会を開催。2008年総会において、辻彰氏(1966年卒・金沢大学名誉教授・学長特別補佐)が、第三代会長に就任しました。

総会の中では、財政面において近年目減りの傾向にあることについて審議が行われ、終身会費の見直しや、薬友会誌(年1回発行)の簡素化、それに伴ってホームページのコンテンツ充実と最新情報の発信など、新しい視点をもとに、これまで以上に会員に対する支援体制を整備していくことが話し合われました。また、角間キャンパス自然科学本館にあるアルミニウムに同窓会事務所を設置することを決定。会員の中から専任事務員を配置し、情報の収集、総会準備、会誌発行、名簿の管理、支部との連絡などの事務業務を一括して行っていくことが提案されました。

さらに2009年5月からは、総会・懇親会の会場を、金沢市内のホテルから自然科学研究科棟と学内レストラン「すみれ亭」へ変更。教職員や在学生が参加しやすい場所であることから、会員である卒業生との交流がより深まることが期待できます。懇親会後は学部や研究室ごとの同窓会も行われる予定です。

現在の薬学部校内(自然科学1号館)

第三代会長・辻 彰氏

●金沢大学薬学同窓会ホームページ
<http://www.p.kanazawa-u.ac.jp/about/alumni.html>

Activity report

活動報告 2009 01 ~ 03

1/7 第670回「北の都会」月例会



2/4 第671回「北の都会」月例会

2/7 金沢工業会支部長・代表理事合同会議

2/21 平成20年度金沢工業会近畿支部総会・特別講演会および懇親会

2/28 平成20年度金沢工業会東海支部総会・講演会および懇親会

3/4 第672回「北の都会」月例会

3/14 平成20年度金沢工業会石川支部総会・特別講演会および懇親会

3/23 金沢工業会主催「卒業祝賀会」

3/28 教育学部体育科同窓会60周年記念式典・祝賀会

3/28 法経文学部同窓会理事会・懇談会

3/28 「四高桜」(四高ボート部遭難時に琵琶湖湖畔に植えられた桜)の子孫を角間キャンパスに植樹

○活動スケジュール

5/16 薬学同窓会総会

7/4 医学部十全同窓会総会

同窓会の人的ネットワークを活用し、有意義な人生を

[金沢大学同窓会連絡協議会参加の同窓会]

■ 法・経・文同窓会	TEL(076)264-1667 (同窓会事務局)
■ 教育学部同窓会	TEL(076)264-5081 (学友支援室気付)
■ 理学部同窓会連絡会	TEL(080)1620-8154 ((財)豊田理化学研究所気付)
■ 医学部十全同窓会	TEL(076)265-2132
■ 医学部保健学科つるま同窓会	TEL(076)265-2504
■ 薬学同窓会	TEL(076)260-6366
■ 金沢工業会	TEL(076)264-0482
■ 四高同窓会	TEL(076)262-5464 (石川四高記念文化交流館内)

総合大学として、長い歴史と伝統を誇る金沢大学は、多方面で活躍する数多くの卒業生を輩出しています。そのため、同窓会での出会いや再会は、質の高い人的ネットワークを構築するまたとない機会となっています。

金沢大学同窓会連絡協議会では、卒業生の連携強化を目標として、同窓会への加入促進や各同窓会報の発行支援、行事の協力などの活動を行っています。

〔事務局〕金沢大学学友支援室 TEL:076-264-5081 FAX:076-234-4021
〒920-1192 石川県金沢市角間町 E-mail:gakuyu@ad.kanazawa-u.ac.jp

●卒業生向けホームページ
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/internal/graduate/index.html>

■交流協定

〔2008〕

12月
中国・南開大学と大学間交流協定を締結

中国・浙江工業大学と大学間交流協定を締結

■その他の連携・協定

〔2008〕

12月
JSTイノベーションプラザ石川と科学技術振興に関する連携協定を締結



林総館長（左）と握手する中村学長（右）

〔2009〕

1月
「北陸銀行若手研究者助成金」制度を創設
総応募件数114件から6件が採択されました。

3月

金沢市と連携協定を締結

■受賞

〔2008〕

12月
フロンティアサイエンス機構・福岡剛士特任准教授が日本生物物理学会第4回若手奨励賞を受賞

「周波数変調原子間力顕微鏡によるモデル生体膜上に形成された水和層の分子分解能観察」の功績が認められました。

12月

附属幼稚園の池田三津子副園長が「平成20年度教育者表彰」を受賞

〔2009〕

1月
附属小学校の八崎和美教諭が「平成20年度文部科学大臣優秀教員表彰」を受賞

■その他

〔2009〕

2月
障害者雇用の取り組みに対して石川県特別支援教育振興会から感謝状贈呈

■学長表彰

〔2009・3〕

■論文等が優れていると認められる者

杉浦智子 自然科学研究科

日本薬物動態学会の国際英文学会誌において、2007年度編集者が選ぶ最優秀論文賞を受賞。

大野直樹 医学系研究科

JRC2009・第64回日本放射線技術学会総会学術大会で優秀学生研究発表賞を受賞。

原 成広 医学系研究科

2008年米国核医学会で優秀論文賞を受賞。

中原皓平 教育学研究科

第26回国際スポーツバイオメカニクスインスポーツ学会において、日本人学生として初めて「The Early Bird Award」を受賞。

■本学の課外活動の振興に顕著な功績があったと認められる団体

フオーミミュラ研究会

代表 齋藤浩一郎

第6回全日本学生フオーミミュラ大会総合3位。

合唱団

代表 嶋田 翔

第61回全日本合唱コンクールで金賞を受賞、他入賞多数。



■本学の課外活動の振興に顕著な功績があったと認められる個人

杉本美佳 教育学部

第50回北信越学生剣道優勝大会団体優勝、他入賞多数。

西村達弥 教育学部

2008年日本学生陸上競技個人選手権大会男子走り高跳び7位。

野崎将史 教育学部

第56回秋季北信越バレーボール選手権大会ベストスコアラワー賞、他入賞多数。国民体育大会石川県代表選手。

中村建哉 教育学部

第56回秋季北信越バレーボール選手権大会優秀選手賞、他入賞多数。国民体育大会石川県代表選手。

■社会活動において優れた評価を受け、本学の名誉を著しく高めたと認められる団体

いしかわ縦断子育て支援キャラバン

代表 佐藤啓子

学生の視点から子育ての現状を見つめることを目的に調査活動を行い、関連機関の人たちとの意見交換や発表をとおして、よりよい子育て環境作りに貢献した。

能登半島地震被災者の保健支援グループ

代表 堂端綾乃

「能登半島地震被災者の保健支援グループ」として、被災住民に対する積極的なボランティア活動を行った。



■社会活動において優れた評価を受け、本学の名誉を著しく高めたと認められる個人

水上寛之 教育学部

第1回金沢大学学生リユース市の開催にあたり、中心となって活動した。また「なんでも相談室」において、ボランティア相談担当者としてその運営に大きな役割を果たした。

TOPICS 金大のいまがわかる

[ニュース&トピックス]

金沢大学のニュース&トピックスおよびイベント情報は、[金沢大学ホームページ](http://www.kanazawa-u.ac.jp/)でご覧いただけます。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>

November 11月

11/12 「アンブレラシェアリング」用
オリジナル傘の贈呈式

貸出用の傘200本が金沢大学生活協
同組合より寄附されました。



11/15 シンポジウム「SATOYAMA
Aの生物多様性保全」森・川・海
のつながりを活かした人のいと
なみ」を開催

11/18 イノベーション創成センタービ
ジネススクリエイト道場キックオ
フフォーラムを開催

地域イノベーション創出のための3つ
のステップ「創造―具現化―事業化」の出
口である「事業化」に着目し、「事業化への
あと一歩」を埋めることを目的に開催しま
した。

11/24 朝日・大学パートナーズシンポ
ジウム「黄砂、変化の旅」能登は
大気観測の最前線」を開催

11/28 KUTLONITTの発足記
念国際シンポジウムを開催

December 12月

12/6 琴尺八部が邦楽演奏会を開催

12/8 「第1回金沢大学女性研究者支
援シンポジウム」を開催

国、石川県および金沢市の男女共同参画
担当者を招き、講演やショートレポートが
行われました。

12/9 本学独自の奨学金制度「アカン
サス・スカラシップ」給付決定交
付式

学業成績優秀者21名への給付が決定し
ました。

12/12 「金大生のためのOB・OGに
よる業界・企業研究会」を開催



12/13 「いしかわ金沢学」冬コース
～14～を開催

↓ P7に関連記事

12/15 合唱団全日本合唱コンクール
全国大会金賞受賞報告会

12/16 附属図書館で「北陸銀行文庫」
贈呈式

北陸銀行から、包括連携事業の一つとし
て、学生のキャリア教育および就職活動支
援に資する図書161冊が寄贈されました。

12/17 留学生懇談会を開催

12/20 金沢タウンミーティングin内灘
を開催

January 1月

1/15 「成人を祝う会」を開催

障害者雇用の一環として清掃職員に採用
している特別支援学校等の卒業生3名が成
人の日を迎えました。

1/17 フィルハーモニー管弦楽団が定
期演奏会を開催

1/22 金沢大学・東京学芸大学・愛知教
育大学および千歳科学技術大学
が連合し、eラーニングによる
教員免許状更新講習を全国展開



1/31 公務員試験対策講座
第6期生合格祝賀会を開催

1/31 合唱団が定期演奏会を開催

1/24 ~2/8 第1回金沢大学未来開拓
研究公開シンポジウム
- Features for the
Future - を開催

本学の3研究域がそれぞれ特徴ある
テーマに基づいて最先端の研究内容を紹
介しました。

■ 医薬保健研究域

「病気を予防するための食と運動と環境」
● 1月24日 / 石川県立音楽堂邦楽ホール
生活習慣の見直しや早期発見の大切さ
を説明しました。



筑波大学 山口 香 准教授

■ 理工研究域

「地球温暖化問題を含めた俯瞰的な環境
問題へのアプローチ」
● 1月31日 / 石川県立音楽堂邦楽ホール
本学の先進的な環境研究のうち、4
つの分野（里山里海の保全と利用、
越境大気汚染の観測、モホールに関
する地球科学、日本海の汚染観測と
国連との協力）について、現状と研
究成果が発表されました。

■ 人間社会研究域

「交響する文化学―異文化接触と新文化
創出のために―」
● 2月7日 / 赤羽ホール
海外から太鼓チームを招き、異文化を
テーマに開催。
「輝ける能登、未来に向けて」
● 2月8日 / 輪島市文化会館
能登半島復興事業の現状と課題につい
ての報告とパネルディスカッション。

NEWS &

February 2月

2/1 雪だるままつりin角間の里／
かなざわ雪ん子体験塾を開催

2/3 金沢大学派遣留学報告会を開催
↓ P 4、10、11に関連記事

2/7 宝生会能楽発表会

石川県立能楽堂で、能・狂言を披露しました。

2/14 能登半島地震復興ユース・フォーラム

被災地支援に関わってきた大学の学生も参加し、地元高校生とともに復興に向けた能登の未来を議論しました。



2/14 「いしかわ金沢学」特別コースを開催
↓ P 7に関連記事

2/19 金沢がん生物学国際シンポジウム2009を開催

March 3月

3/4 金沢大学シンポジウム「日本の未来を担う人材養成・教育改革モデルの構築」を開催
教育改革・組織改革など、国立大学を先導する大学改革モデルを紹介しました。

3/7 金沢大学イノベーション・フォーラム2009を開催

3/14 第3回金沢大学学生リユース市
↓ P 15に関連記事

3/14 「能登里山マイスター」養成プログラム修了式を挙

3/26 「金沢先進医学センター」調印式

3/27 金沢市と連携協定を締結



3/6
~13

平成20年度附属学校卒業・卒園式を挙

附属幼稚園55名に卒業証書が、附属小学校110名、附属中学校157名、附属高校119名、附属特別支援学校小学部1名、中学部6名、高等部9名に卒業証書が授与されました。



3/23

平成20年度金沢大学学位記・修了証書授与式を挙

学部生1820名、別科34名、大学院研究科修了生と論文審査合格者731名、計2585名に学位記・修了証書が授与されました。



お気軽にご参加ください EVENT CALENDER イベントカレンダー

★マークはサークルのイベント ()は開催場所です。
*マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。
特に明記がないものは、金沢大学角間キャンパスで開催します。

4月
April

- 4 → モダン・ジャズ・ソサエティ「BIG BANDS JA-M-P!! 2009」(金沢市民芸術村)★
6~9/30 → 新歓展(資料館)
7 → 入学宣誓式(学域:金沢歌劇座 大学院:十全講堂)
8 → 附属学校入学式(小学校・中学校・高等学校・特別支援学校)
9 → 学類オリエンテーション
10 → 附属幼稚園入園式(附属幼稚園)
11 → 能登里山マイスター入講式(能登学舎)
18 → ミニ講演「民法715条に基づく使用者責任の現状について」*

5月
May

- 12 → ふれあい看護体験(附属病院 対象:高校生以上)
12 → ふれあいコンサート(附属病院)
14 → 第8回北陸地域アイソトープ研究フォーラム(十全講堂)
16 → ふれあい看護体験(附属病院 対象:小中学生の親子)
17 → ミニ講演「水子供養をめぐる諸問題」*
23 → マンドリンクラブ合同演奏会(金沢市文化ホール)★
31 → 「いしかわ金沢学」春コース

6月
June

- 6 → フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサート(石川県立音楽堂コンサートホール)★
13 → 第55回幼児教育研究会(附属幼稚園)
14 → ミニ講演「裁判員は間違えるか」*
21 → 吹奏楽団サマーコンサート(金沢市文化ホール)★
27 → 初期救急救命法講習会(十全講堂)

7月
July

- 上旬 → 「いしかわ金沢学」夏コース
下旬 → 「いしかわ金沢学」奥能登文化体験コース

8月
August

- 6~7 → オープンキャンパス
12~14 → 夏季一斉休業

金沢MOT塾

- 4/10より毎週金曜日開講「環境マネジメント論」
4/14より毎週火曜日開講「技術経営論入門」
4/16より毎週木曜日開講「技術マネジメント基礎論」
[お問合せ] 角間南地区事務部学生課学務第二係 TEL:076-234-6831

公開講座

- 4/10~18
「タイ語会話入門」
4/11~5/2
「塑造による頭像の制作—美術へのいざない(XIX)—」
5/9~16
「コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座 初級コース」
5/9~6/6
「バイオ工学入門・自然システム学類」
5/23
「心・理・学」
5/24
「ブランド医薬品とジェネリック医薬品」
6/10~7/8
「国が変われば 教え方も変わる?!—各国の教育事情と文化—」
6/13~7/11
「物質循環社会に向けた最新の“ものづくり”・自然システム学類」
6/13~7/18
「機械設計初級講座~知っておきたい設計のポイント~」
6/20~7/18
「幼児教育の現場から考える現代の子育て学」
6/24~7/3
「法の歴史と未来」
6/27~10/31
「漢方の不思議を解く!Part2:薬茶—薬草園学入門講座—」
7/4~11
「コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座 中級コース」
7/25~8/1
「近代金沢の政治と行政」
7/30~31
「高校生のための医学・発生物学への招待」
8/5~7
「金沢大学の地域連携から見てきた能登の可能性」
8/24~25
「聴覚障害児を指導する教員のための手話講座」
8/25~27
「薬局見学・体験ツアー」

[詳細情報] http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

「3学域・16学類」 がわかる バーチャル 入学体験

8/6(木)~7(金) オープンキャンパス開催

実際に見て、ふれて、キャンパスの雰囲気を感じて、感じる絶好の機会です。金沢大学の魅力を体験できるオープンキャンパスにぜひお越しください。

- 午前の部 受付 9:30 開始10:00
■午後の部 受付13:00 開始13:30



携帯サイトはこちら!



<http://daigakuic.jp/kanazawa-u/>

金沢大学の最新情報は金沢大学ホームページからご覧いただけます。 <http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



〔Acanthus ユーセー〕
古代ギリシア・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)という。金沢大学校章のモチーフになっていることから、キャンパス内施設に名称が用いられるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれている。

〔表紙写真〕
新外来診療棟
(宝町・鶴間キャンパス)
21年5月オープンの新外来診療棟・ホスピタルプロムナードです。天井と正面から光が差し込み、開放的な。街並みを演出しています。附属病院ではこの建物の完成により、これまで以上に地域医療と高度先端医療に貢献していきます。

〔編集後記〕
今号のテーマは国際化です。現代社会の多様な文化・言語・社会にふれることで、グローバルな視野を育むことは国際理解の発展につながっていくことでしょう。それを支援する金沢大学にとって大切なことは、以上のスタッフ、システム、そして教育研究環境を整えること。日々「より進化すること」を忘れずにいたいものです。